



一等賞の笑顔、
金メダル級――





所信表明

黄金の輝きに満ちた

涌谷町の再建を目指して―



この度、5月の町長選挙において、多くの町民の皆様からのご支持、ご支援を頂き、町長という大変重い責任ある立場を賜り、改めて身の引き締まる思いを強くし、その職責の重さを実感しています。

大橋前町長は、「活力ある涌谷町の町の復活」を目指し、涌谷町の行政を主導してきました。その思いを引継ぎ、町づくりに努める所存です。

今、多くの地方自治体は人口減少や第一次産業の衰退、少子高齢化、そして安定して働ける雇用の場の不足など、多くの課題を抱えており、難しい行政運営を強いられています。涌谷町においても他と違わず、多くの難しい課題や困難を抱えています。

しかしながら、町にどれほど多くの困難な行政課題があったとしても、皆様のご協

力とすばらしい知恵をお貸しただければ、必ず乗り越えられるものと確信しています。

今後は、皆様のご協力の下、私は懸命の努力を持って一日でも早く、これらの諸課題を解決して町を安定させ、次世代の皆様が誇りと自信を持つための町づくりを目指して、誠心誠意職責を果たす覚悟です。

それでは、町政運営に当たり、私の政策目標や施策の一端をお知らせします。

私の町政運営に対する姿勢や考え方は、第五次涌谷町総合計画を基本とするものです。しかしながら、本年1月に町が発令した財政非常事態宣言を受けて、多くの町民の皆様は大きな不安を持たれました。このような状況を踏まえ、町の財政の立て直しを行

うことが、私の最初に取り組むべきことと考えていることから、まずは財政の立て直しに軸足を置いた町政運営に当たりたいと考えています。

第一の政策 財政の立て直し

財政の立て直しについては、現在、財政再建計画を策定中ですが、これまでの基金に頼る財政構造からの脱却を目指し、収入の確保や事業の在り方、事業に係る経費の見直しを行っていきたいと考えています。

また、事業の見直しに伴い、職員定数管理の見直しが求められてきますが、職員定数の見直しについては、町民の皆様への行政サービスの低下に繋がらないよう適正な職員数を検討し、総枠での人件費の

削減を図っていきたいと考えています。

さらに、今、町の財政調整基金や減債基金などの残高の低下傾向が懸念されており、災害などの非常時における行政対応に支障を来さないようにするためにも、各種基金残高の適正維持に努めたいと、強く考えています。

第二の政策 国民健康保険病院の運営改善

次に、涌谷町国民健康保険病院の運営改善に取り組むことも、大変重要なことと考えています。涌谷町国民健康保険病院は開院後30年にわたり町民はもとより、近隣市町の人々の命と健康を守ってきた重要な町の施設です。

国は地域包括ケアの考え方を全国に進めています。その

の原点となっているのが、当時としては画期的な「涌谷町町民医療福祉センターシステム構想」であると私は捉えています。当病院は、その町民医療福祉センターの核となっている施設であることは、今更申し上げるまでもありません。

しかしながら、平成30年度の実績では平均病床稼働率は約65パーセントに低下し、1日の平均外来患者数も200人を下回るなど、ここ数年、病院経営は悪化傾向が続いています。これにより、一般会計からの繰出しが基準額を大きく上回るという結果を招いています。

このことから、病院運営の改善を図ることは財政立て直しのための急ぐべき課題と捉えています。初期診療、二次救急、回復期、慢性期の患者様対応を主とする涌谷町国民

健康保険病院の特性を十分に踏まえて、高度救急救命センターの特性を持つ大崎市民病院や石巻赤十字病院との連携を強固にし、また民間の病院との連携も強くして、地域医療になくてはならない存在になる必要があると考えています。また、病院スタッフによる親身な「おもてなし」の心で接することが患者様にとりまして最も大切なことでありますから、このことは町長として、病院スタッフの理解と協力の下、さらに進めていきたいと考えています。

現在、病院のスタッフ自らによる、涌谷町国民健康保険病院改革検討委員会を立ち上げた後、多くの病院スタッフの病院改革への理解も深まりつつあり、営業実績においても向上が図られていることは、財政の立て直しを行う上で大変に心強いものがあります。

第三の政策 人材の育成

次に、人材育成について申し上げます。

明日の涌谷町を創るためには、すばらしい人材を大切に

育て上げる必要があると考えています。いわゆる町づくりには、人づくりが大事であると考えているところです。

地域からの、町づくりや地域づくりに対する貴重な提案に、町として素直に耳を傾け、これを積極的にいかしていこうとする環境がなければ何にもなりません。誰もが気兼ねなく提案や発言ができる環境づくりを検討していきます。

また、地域の活性化や町づくりには、役場職員が主体的に行動できる職員力、その職員力を集めて実行していく組織力を向上させることが必要であることから、役場内部での人材育成のための制度を確立させたいと考えています。

第四の政策 安心して生み育てられる町へ

大橋前町長は、「町の活力の源は子どもである」との想いから、子どもを産みやすく、育てやすくするために、保育料、教育費、医療費などの負担軽減や妊産婦支援、全幼稚園での預かり保育の実施や施設整備を含めた学童保育を充

ていまして、

実させてきました。

大橋前町長の遺志を継ぎ、若い世代が定住できる環境づくりを研究、検討し、充実させていく所存です。

第五の政策 子どもたちの教育環境の向上

次に、未来を担う子どもたちのために、教育環境を向上させなければなりません。子どもたち一人ひとりのすばらしい個性を発現、発揮させるための教育は、涌谷の明日にとっても非常に重要なことと考えています。

その上で私は、教育のことは教育の現場にお任せすることが最も肝要なことと思っています。幸いにも、教育委員会には敬意を持ってお任せできるすばらしい皆様が活躍されており、これを持って教育環境は整っていると一言でも決して過言ではありません。

私にできること、私が果たさなければならぬことは、このような皆様が、その思うところを充分に展開できるように下支えをすることと自覚しています。

現在、関係者の皆様のご尽力により、すばらしい児童や生徒が育ち始めていると認識しています。このすばらしい動きをしっかりと見守り、確実に推し進めていくことが私の務めと思っています。

第六の政策 日本遺産をいかした観光振興

この度、「みちのくの金」に関わる歴史、文化をテーマとした「みちのくGOLD浪漫―黄金の国ジパング、産金―はじまりの地をたどる」が令和元年度の日本遺産認定ストーリーの一つに選ばれました。日本初の産金の地である涌谷町と平泉町、南三陸町、陸前高田市、気仙沼市の2市3町で構成された金にまつわるストーリーは、3度の挑戦により前町長の悲願であった日本遺産認定となりました。

これまでも、それぞれが点の存在だった各自自治体の金の歴史が2市3町の連携により面となり、「日本唯一の黄金観光ルート」の確立への第一歩を踏み出しました。

今後、日本遺産登録を、質

の低い文化観光・地域振興に有効に結び付けていくために、2市3町による協議会を立ち上げる予定です。

涌谷町には、沢山の歴史遺産やこれに伴う数々の文化遺産があります。今回の「みちのくの金」に関わる歴史、文化をまとめた「みちのくGOLD浪漫」が日本遺産に認定されたことを好機と捉え、歴史遺産や産金遺跡をいかした観光事業を推進していきたいと考えていますので、今後の事業の展開に対しまして、議員各位のご提案とご協力をお願い申し上げます。

以上、私の所信を述べさせていただきます。また、さまざまな行政上の課題や情報をできるだけ議会の皆様と共有させていただき、その上で議論を重ねて、町にとってより良い方向性を見出し、町民皆様の笑顔に繋がっていきたく思っておりますので、町民皆様の、なお一層のご協力とご理解をお願い申し上げます。所信表明とさせていただきます。

(令和元年6月議会所信表明から抜粋)

— 3 —

財政再建 大綱策定

健全で魅力ある涌谷町へ向けて

財政再建大綱の概要

人口減少による町税などの自主財源の伸び悩みなどにより、ここ数年間は単年度収支不足額が生じ、町の

貯金に当たる財政調整基金で補う状況が続いていることから、自主的に財政再建を目指すために本年1月30日に財政非常事態宣言を発令しました。

今回、財政再建を図るための基本方針となる「財政再建大綱」を策定しましたので、その概要についてお知らせします。

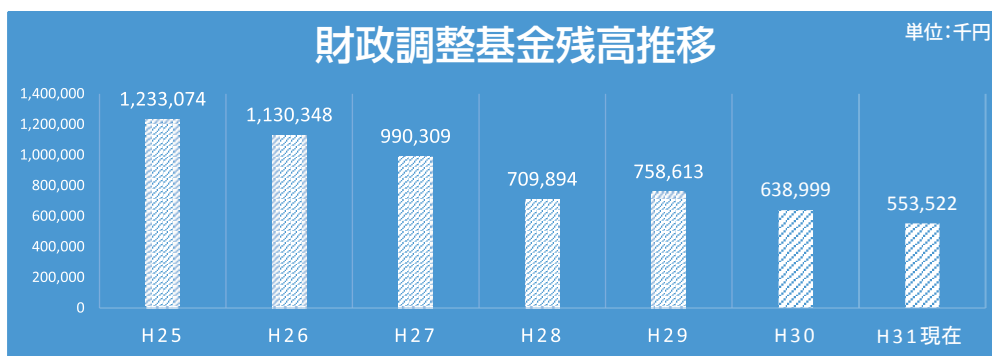
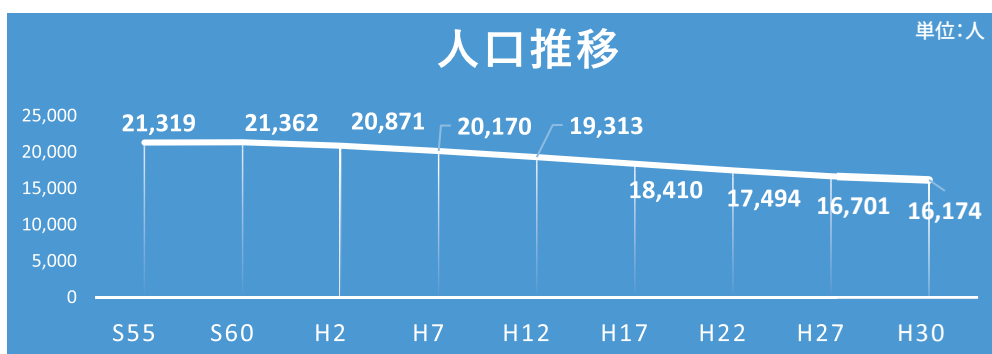
今後、この大綱に基づいた実施計画を策定しながら、順次実行に移し、生活への

影響を最小限に収めるとともに自主的な財政再建を果たしてまいります。

なお、大綱は、一般会計を基本として策定したものであり、各特別会計、水道事業および下水道事業においても、同様の考え方で進めることとします。

ただし、事業管理者を置く病院事業は、病院経営健全化検討委員会などの方針により、一般会計などと連携を図りながら進めることとします。

財政再建大綱の詳細は、涌谷町のホームページに掲載しています。



基本理念

地域の発展や住民の幸福度を向上させるため、必要な経営資源を効果的・効率的に活用することで財政再建を果たし、持続可能な町政運営を確立させるとともに、協働のまちづくりの実現を目指します。

基本方針

基本理念を実現させるため、4つの基本方針に基づき改革を推進します。

①コスト感覚を取り入れた合理化の推進

○収入の確保 ○経費の見直し

○資産の有効活用や整理統合

②人材の育成

○職員の人材育成 ○地域の人材育成

③固定概念からの脱却とチャレンジ(改革)精神の醸成

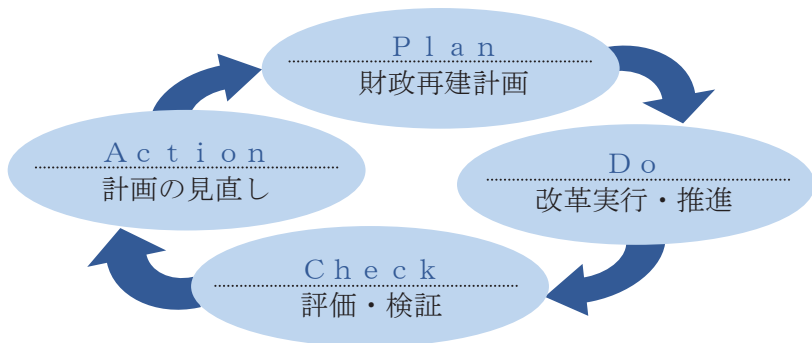
○固定概念から脱却した新たな視点での事業執行と改革精神の醸成と体制の整備

④協働のまちづくりの推進

○町民、各種団体および行政が共通の目的を達成するため

に力を合わせる協働を推進

広く皆さんの意見などを伺いながら、9月を目途に令和元年度から令和5年度を計画期間とする財政再建計画の策定を行い、実行に移し、更には検証・改善といういわゆるPDCAサイクルで運用することで財政再建を図ってまいります。



意見募集

財政再建に関する考えを教えてください

皆さんのお考えを教えてください。

役場庁舎、涌谷公民館、箕岳公民館および町民医療福祉センター玄関に設置してある「御意見箱」に投函するか、財政再建対策室に郵送、FAXまたはメールでご意見をお寄せください。

なお、ご意見に対する個別の回答はいたしませんのでご了承ください。

宛先 涌谷町字新町裏153-2 総務課財政再建対策室

FAX 0229-43-2693 E-mail kaikaku@town.wakuya.miyagi.jp

委員募集

財政再建を考える会議委員を募集します

自主的な財政再建を図るにあたり、広く皆さんからの意見をお聴きする、「財政再建を考える会議」を設置することとしました。

設置にあたり委員を募集します。将来の涌谷町のため、ぜひ申し込みください。

なお、申込者多数の場合は、抽選で委員を決定しますのでご了承ください。

▶**募集委員** ▷20代・30代委員 5人 ▷40代・50代委員 5人 ▷60代以上委員 5人

▶**申込方法** 下記または総務課備え付けの申込書に必要事項を記入しお申し込みください。

▶**申込締切** 令和元年7月12日(金)必着

▶**申込先** 総務課財政再建対策室

▶**備考** 第1回会議は、7月26日(金)19時～21時を予定しています。

月1回以上の開催を予定しておりますが、2回目以降の開催日程は、第1回会議において協議させていただきます。

-----キ リ ト リ-----

「財政再建を考える会議」参加申込書

住所				
氏名		性別		電話番号
生年月日		職業		

▶**問い合わせ先** 涌谷町総務課財政再建対策室 ☎0229-43-2111 ✉kaikaku@town.wakuya.miyagi.jp



日本遺産による地域活性化へのはじめての一步 黄金山神社で日本遺産認定記念式典

5月31日(金)に、黄金山神社において、令和元年度の文化庁日本遺産認定を記念して式典を挙行了しました。この式典は、認定を祝うとともに、「みちのくの金」にまつわる歴史遺産を有する涌谷町・南三陸町・気仙沼市・平泉町・陸前高田市が結束し、日本遺産を活用した地域活性化のスタートを意味します。遠藤釈雄涌谷町長のほか、佐藤仁南三陸町長や青木平泉町長ら2市3町の代表が主催者として臨んだほか、大勢の来賓が出席しました。



多年にわたる功績に対して 坊城延溟氏に人権擁護局長感謝状

5月29日(水)に、人権擁護委員を務める坊城延溟氏に、法務省人権擁護局長から感謝状が贈られました。人権擁護委員は、法務大臣から委嘱され、人権に関する相談、人権侵害による被害者の救済、人権擁護の考えを広める活動をしています。

坊城氏は、平成21年から人権擁護委員を務め、国民の人権擁護と人権思想の普及と高揚に貢献してきました。多年にわたる功績が認められ、このたびの受賞となりました。



多年にわたる功績に対して 長塚久美氏に行政評価局長感謝状

5月30日(木)に、行政相談委員を務める長塚久美氏に、東北管区行政評価局長から感謝状が贈られました。行政相談委員は、総務大臣から委嘱され、国をはじめ、独立行政法人や特殊法人などの仕事に関する苦情や意見要望を受け付け、住民と役所の間に立ち解決に努めます。

長塚氏は、平成27年から行政相談委員を務め、国民の行政に対する苦情解決に尽力してきました。多年にわたる功績が認められ、このたびの受賞となりました。



子どもも大人も「お餅」で笑顔に 昔ながらの上棟式で地域交流

5月30日(木)に、有限会社大地環境企画の新事務所建設現場において、昔ながらの上棟式を行いました。地域住民の皆さんとともに、古式にのっとった上棟式をののだけ幼稚園や麓岳白山小学校の園児・児童に見せたいと大勢が招かれました。

メインイベントの餅まきでは、紅白の餅やおひねりが盛大にまかれ、参加者から大きな歓声が上がりました。両手いっぱい餅を抱えた皆さんの笑顔が印象的でした。



「金にら」の増産体制が整いました いとうファームが金にら専用ハウス建設

6月2日(日)に、ニラやホウレンソウなどを生産する株式会社いとうファームが、日本初の産金地としてのブランド化を進める「金にら」の専用ハウスを建設しました。

これまで「金にら」は、試験的に栽培し、仙台市内をはじめとした飲食店に直接納入していましたが、品質の良い「金にら」に対して供給を増やしてほしいという声が多く寄せられたことから、増産の体制を整えることを目的として今回の建設に至りました。

建設に必要な資金80万円をクラウドファンディングによって支援を呼びかけたところ、目標金額以上の92万2千円の支援を受けることができました。

「金にら」専用ハウスの建設は、クラウドファンディングの返礼品「金にら専用ハウスの建設体験」に申し込んだ6人の支援者と共に行いました。

株式会社いとうファーム代表の伊藤晃さんの指導の下、手際よく鉄骨を組み上げていきました。

昼食には、株式会社いとうファームが生産する「花にら」や「金にら」を使ったお食事処すずきや特製の弁当がふるまわれ、昼休憩時には、「花にら」の摘み取り体験も実施。

今後は、来年の夏頃の収穫を目指して「金にら」の栽培が進められ、飲食店への供給強化を目指してまいります。



城山の金さんの徒然日誌 涌谷町に白いキジが現れた

涌谷町某所に、世にも珍しい白いキジがいたという情報が寄せられ、何日かにわたって現地を探索したところ、写真のような真っ白なメスのキジがおった。

恐らくじゃが、このキジは、先天的にメラニンが欠乏して色素が少ない「アルビノ」ではないかと思われる。650年に白いキジが国に献上されたことで「白雉」に改元されたという情報がインターネットに。令和になったこのタイミングでの白いキジの出現は、吉兆かもしれない。

子育て支援サークル・おひさまスマイル活動報告

眼ヨガ講座を開催

5月30日(木)に『眼ヨガ講座』を行いました。講師にはラフターヨガでもお世話になった泉久恵先生をお招きしました。

体のバランスを整えるヨガに、眼の運動とマッサージをミックスして、目と体のコリを解消し、本来持っている治そうとする力を引き出す眼ヨガ。からだも眼もスッキリしました。

講座後はティータイムで幅広い年齢層の参加者の皆さんとおしゃべりをして気持ちもスッキリ楽しい時間を過ごしました。





5 団体・8人が県大会に出場



遠田郡中学校総合体育大会結果

6月1日(土)に、第72回遠田郡中学校総合体育大会が開催され、遠田郡内各会場で全13競技の熱戦が繰り広げられました。

団体競技では、女子バスケットボール部と男子卓球部、女子卓球部が優勝。(野球部は決勝で敗れましたが、県大会に出場。) 個人競技では、卓球女子で3選手(1位から3位を独占)、卓球男子で2選手(2位と3位に入賞)、柔道で3選手(うち1選手は優勝で、2選手は出場者1人)が宮

城県大会出場の切符を手にしました。

なお、サッカー部は、PTAバザーの収益金によって新調されたユニフォームを身に着け試合に臨みました。

また、ソフトボール競技が、今年度から部員数の減少によって、遠田郡大会の開催がなくなり、不動堂中学校との合同チームを編成し宮城県大会に出場することとなりました。



大会成績

野球(県大会出場)

《決勝》

涌谷中学校 1-4 小牛田・南郷
中学校

サッカー 1勝1敗

男子バレーボール

涌谷中学校 0-2 不動堂中学校

女子バレーボール 1勝1敗

男子バスケットボール 1勝1敗

女子バスケットボール

優勝(県大会出場)

《決勝》

涌谷中学校 74-35 不動堂中学校

男子卓球

《団体戦》 2勝優勝(県大会出場)

《個人戦》

今野友貴 準優勝(県大会出場)

千葉楓太 3位(県大会出場)

女子卓球

《団体戦》 優勝(県大会出場)

涌谷中学校 3-1 小牛田中学校

《個人戦》

杉田まや 優勝(県大会出場)

渡部晶子 準優勝(県大会出場)

清水美羽 3位(県大会出場)

男子ソフトテニス

《団体戦》

涌谷中学校 0-3 小牛田中学校

女子ソフトテニス

《団体戦》 1勝1敗 準優勝

《個人戦》

3位 鈴木咲結・細浦花音ペア

男子柔道

《団体戦》

涌谷中学校 1-4 南郷中学校

《個人戦》

50kg以下級 鈴木耀斗

優勝(県大会出場)

60kg級 阿部龍斗(県大会出場)

66kg級 嶋里樹斗(県大会出場)

男子剣道

《団体戦》

涌谷中学校 0-5 不動堂中学校

女子剣道

《団体戦》

涌谷中学校 0-5 不動堂中学校

